

指定管理施設事業評価票(令和6年度分)

1. 施設所管課

観光経済 部 栗山観光 課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市上栗山オートキャンプ場
	所在地	日光市上栗山561番地
指定管理者	名称	上栗山開運の里管理組合
	代表者名	組合長 大類 明男
	住所	日光市上栗山561番地
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日	5 年間
選定方法	非公募	評価実施年 5 年間のうち 4 年目
施設設置目的	自然に親しむ環境と都市農山村交流の場を市民等に提供することにより、都市交流の促進と地域産物等の活用を図り、観光、保健休養及び文化の向上に資するとともに地域の活性化を図る。また、保養と健康の増進を図り、かつ、観光事業の振興を図る。	
主な実施事業	キャンプ場	

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用者数	人	1,200	0	2,430	530	3,000	1,278	1,500	1,248		
b											
c											
d											
e											

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入計 A	243,000	1,274,413	2,666,103	2,786,405	0
指定管理料	0	21,943	0	0	
利用料収入 C	0	1,111,500	2,377,750	2,434,800	
自主事業収入	0				
その他	243,000	140,970	288,353	351,605	
支出計 B	242,902	1,236,462	2,637,720	2,744,162	0
指定事業費	242,902	1,236,462	2,637,720	2,744,162	
内人件費 D	0	377,150	1,514,250	1,641,000	
内外部委託費 E	0	0			
自主事業費	0	0			
事業収支 A-B	98	37,951	28,383	42,243	0
人件費率 D/B	0.00%	30.50%	57.41%	59.80%	#DIV/0!
外部委託比率 E/B	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	#DIV/0!
補足説明	・上栗山オートキャンプ場は、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため令和3年度休業とした。 ・開運の湯は、源泉ポンプの故障により令和3年度から休業。				

サービス改善の状況

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価			
① サー ビス の 履 行 の 確 認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B B B	B B B			
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。 外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B B	B B			
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B			
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。 個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B B	B B			
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B B	B B			
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B B	B B			
	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B B	B B			
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。 避難経路が適切に確保されている。	B B	B B			
	総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】					
		協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B B	B B			
② サー ビス の 質 の 評 価	施設管理	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B			
	利用者対応	利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B			
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B			
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B			
	事業運営	施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B			
	維持管理	事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B			
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B			
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B			
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B B	B B			
	環境配慮	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B			
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B			
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B			
	利用者アンケート	要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B			
	利用状況	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B			
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】					
③ 安 定 性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B			
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B			
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B			
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B			
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】					
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価)						
	・週末に大雨や台風が多く利用者のキャンセルや予約が入らない状況であったが、前年度よりは利用者の増加が図られた。						
	・インターネット予約により、スタッフの負担軽減が図られ場内の管理の時間が増え、安全で清潔な施設の運営をすることが出来た。						
	・物価高騰の中、経費削減の取り組みができた。						
	(所管課評価)						
	・管理運営については、インターネットの活用や経費削減対策など工夫しながら概ね良好に実施されている。						
	・継続したPR効果等から利用者は増加傾向にあり、引き続き利用者増加の取り組みを図るとともに適切な施設の管理運営に努められたい。						
前年度総合評価		B(良好)	総合評価	B(良好)			

※評価区分

評価基準 A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。

B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。

C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。

※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。

総括評価 A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上	総合評価 A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
--------------------------------	--

B(良好) = A、C 以外

B(良好) = A、C 以外

C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上

C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。